























業種別景況予測

平成23年4月～6月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			震災で直接・間接の影響を受けている。売り先の減少に打つ手なし。現況はあまり変わらないが、今後は変化していくと考えられる。H23.4月以降の景況状況は厳しいと予測している様子。			
繊維 ファッション			震災により、販売先の東京マーケットが暗く、生産面も東北地方の工場の燃料確保を心配する声がある。又、オーダーキャンセルも多く、夏物商戦は不透明であるが秋冬物に期待する声あり。震災の影響は直接感じないが必ず出てくるとの見方あり。			
工業			震災の影響により不透明であるが、上期は厳しいと思う。自粛ムードによる生産減少を得意先から感ずるようになってきた。仕入先・売掛先の震災でのキャンセルが目立つ。震災の影響が今後どのように出てくるか未だ見えない。原材料は上がるだろうと考えられる。			
建設			数ヶ月間は、建設資材の不足・値段の上昇が続くそう。秋以降の動向に注視が必要。震災の影響か、材料が入りにくく、建設資材・配管材等が品薄との声あり。			
運輸倉庫			救援物資のため、多量出荷で空庫となり、以降の物量が即応して入ってこない。又、震災ニットなど衣類の商品は動いていないとのこと。関西での荷動きは今の所変わらないが、原発の後遺症が不明なので、先の見通しが立たない様子。燃料費、高速道路等の値上がりが懸念される。			
金融理財			震災の影響で二次的な被害の大きさが予想不可能である。資材不足により資金繰りが厳しくなり、客足も悪くなる。契約保有件数は不変だが、1件あたりの単価が減少している。材料、加工物等の不足やユーザーマインドの冷え込みが懸念される。			
一般商業			自粛ムードの盛り上がり、風評被害等で間接的な影響が広がり、消費マインドが低下し、せつかくの景気回復ムードが反転している。安い商品しか売れないため売上につながらず、利益率が悪いとのコメントあり。			
サービス業			震災の影響が来年から出てくると思う。税金の増加や物価の上昇、需要と供給が悪くなるのが不安。原材料の値上がりで仕入価格増、売上額減。現在手探り状態。震災の影響により3～6月までの旅行のキャンセルや延期が増えている等の声あり。			

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111